



本格的な暑さがやってきました。はだしっこでも、暑い夏だからこそ楽しめる水遊びが始まります。いつもとは違う体験の中で新しいお友達とのかかわりも増えていきます。お友達と思いきり遊び、開放感を楽しんで過ごしましょう。

ほめかたで子どもはかわる!

突然ですが、自分のお子さんをほめていますか?大人でも褒められると「認められた」「人の役にたった」という喜びや充足感で満たされた気持ちになりますよね。こどもも同じで、大好きな家族やまわりの人から褒められるのはとてもうれしい事です。子どもも褒められることで「この人は、自分をよく見ている」と実感することができますし、「自分は愛されている。ここにいていいんだ。」という安心感や、自分を好きと思えるようになります。この感情(自尊感情)は積極的にものごとに取り組む姿勢や失敗してもくじけない強い心、あきらめない心の土台になります。いわば“生きるちからの根源”ともいえるものです。ほめることは生きる力をはぐくむ栄養剤です。

では、どのようなことをほめればいいのでしょうか。「ほめる」というと、とても「立派なこと」をほめなくてはとおもいがちですが、「普通のこと」をほめればいいのです。はだしっこでも、お片付けができた、お返事ができたりとほめポイントはたくさんあります。「これぐらいはできて当然」と思わずに、小さなできたことをほめ、できることを増やして、子どもの成長につなげていきましょう。

ほめ上手になるための 4つのポイント

① 具体的にほめる

「すごい」、「じょうず」、「がんばったね」だけでなく、「昨日よりもお片付けが早くできたね」などと具体的にほめましょう。

② タイミングよくほめる

その場でほめるのが原則です。本人が達成感を抱いているときなどがまさに絶好のタイミングです!

③ スキンシップを加えてほめる

言葉だけでなく、頭をなでたり、抱っこしたりハイタッチをしたりするなどのスキンシップを加えるといっそう伝わります。

④ 心からそう思う

ただ、「えらいね」「すごいね」と言葉を並べるだけではこどもの心に響くほめ方にはなりません。大人自身がこどもの行いや気持ちに共感したり感動したりしなければ本当の「ほめ」にはなりません。

こどものほめ時を見逃さないように、日頃から子どもをよく見て、良さががんばりに気づけるようにしましょう。

キジの卵みつけたよ

我が家の畑にキジが卵を7個産みました。

キジのお母さんは、梅雨の雨にも夏の日差しにも負けずに、卵を温め続けています。

キジのお父さんは上空を飛び回り、卵を温めているお母さんにご飯を届けているようです。

無事に卵がかえってくれるように応援しながら観察しています。どんなひなが生まれてくるのかな?

キジの子育てを見るのが楽しみです! (小原)



水あそびがはじまるよ

7月、8月はプールを用意しています。水着とタオルをもってきてくださいね。オムツのお子さんは、水遊び用パンツをお願いします。天気の良い日だけになります。

授乳室であそばないでね

授乳室は赤ちゃんのお世話をしたり、水分補給をする場所です。授乳室では遊ばないようにしましょう。